



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東
 コード番号 1446 URL <https://www.candea1.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生
 問合せ先責任者(役職名) 取締役(管理管掌) (氏名) 藤原 泉 (TEL) 03-6862-1701(代)
 四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 2024年6月19日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	6,721	5.9	267	△21.0	266	△20.1	137	△24.4
2023年9月期第2四半期	6,344	8.7	338	59.4	333	85.2	181	190.0

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 137百万円(△24.4%) 2023年9月期第2四半期 181百万円(190.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	14.88	14.83
2023年9月期第2四半期	19.76	19.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	6,251	2,828	45.2
2023年9月期	6,225	2,706	43.5

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 2,828百万円 2023年9月期 2,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2024年9月期	—	4.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,540	10.0	493	9.0	486	10.0	230	2.4	24.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期2Q	10,734,200株	2023年9月期	10,734,200株
2024年9月期2Q	1,507,300株	2023年9月期	1,529,100株
2024年9月期2Q	9,210,460株	2023年9月期2Q	9,171,115株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、働き方改革や労働の売り手市場等により雇用環境の改善や一定の賃上げ傾向が見受けられ、また物価上昇が続いており、インフレ傾向で推移いたしました。一方、多くの企業においては人件費や原材料価格等のコスト上昇の伸びに価格転嫁が追い付いておらず、厳しい経営環境に直面しております。また、家計においては消費者マインドは改善してきているものの足元では実質賃金の減少ははまだ続いており今後の個人消費の動向を注視する必要があるなど、先行きが不透明な状況が続いております。加えて、今後の物価や外国為替市場の動向に影響を与え得る中東情勢や中国経済、また各国の金融政策といった国際情勢にも引き続き注意する必要があります。

建設業界としては、慢性的な人手不足という課題に加え、2024年問題対策としての人員体制整備の課題にも直面し、人員確保のため各企業で賃上げや福利厚生の実施など雇用環境改善の動きが高まっており、企業間での人材獲得競争は激しさを増しております。また資材価格も伸び率は縮小しているものの引き続き高騰しているといった厳しい状況にあります。

他方、当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、国土交通省発表による2023年4月～2024年3月累計の新設住宅着工戸数は、戸建てが前年同期比90.0%と減少し、分譲マンションが前年同期比88.0%と減少し、住宅市場全体としては前年同期比93.0%と減少いたしました。商環境に関しましては、物価高騰により個人消費に停滞感はあるものの、インバウンド需要がコロナ禍以前を超える規模になってきているなど総じて堅調に推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という理念に基づき、「全ての建物に“キャンディル”」というビジョンを実現すべく、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上を目指して、激しく移り変わるお客様のニーズや時代の変化に寄り添いながらサービスの拡充に取り組み、住宅関連・商業施設関連サービスの売上拡大に努めてまいりました。

物価の上昇や人材獲得競争の激化などの厳しい経営環境の中、当社グループは協力業者網の充実を図り労働力確保に努めたことにより、着実に市場の需要を取り込み、売上高は伸長いたしました。一方で、管理職の増員や従業員の待遇改善、営業活動・DX推進戦略に基づくITインフラ強化を計画通りに実行した結果、費用が増加したことで各段階利益は前年同期に比べて減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,721,049千円（前年同期比105.9%）、営業利益は267,769千円（前年同期比79.0%）、経常利益は266,121千円（前年同期比79.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は137,028千円（前年同期比75.6%）となりました。なお、当社グループでは組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に96,111千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は362,233千円（前年同期比84.4%）、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は233,140千円（前年同期比84.1%）となりました。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、「抗ウイルス抗菌サービス」を「住環境向け建築サービス」に含む形で区分変更しております。なお、以下の前年同期との比較・分析は変更後の区分に基づいております。

① リペアサービス

当第2四半期連結累計期間におけるリペアサービスの連結売上高は2,282,711千円（前年同期比102.5%）となりました。

戸建向けリペアの売上高は、新設住宅着工戸数が減少傾向にあるものの、比較的高単価である案件割合の増加により1,796,344千円（前年同期比98.9%）と前年同期並みで推移いたしました。集合住宅向けリペアの売上高は、労働力確保により市場需要を着実に取り込んだこと、また高単価案件の比率上昇などにより486,367千円（前年同期比118.6%）となりました。

② 住環境向け建築サービス

当第2四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの連結売上高は1,899,750千円（前年同期比109.9%）となりました。

定期点検の売上高は、契約単価が引き続き上昇傾向であることなどにより743,844千円（前年同期比107.7%）

となりました。小型修繕、各種施工、検査、コーティングの売上高は、集合住宅向けリペア同様、人員強化により集合住宅の検査受注が増加したことにより1,021,262千円（前年同期比113.7%）と伸ばいたしました。リコール対応の売上高は、134,643千円（前年同期比96.6%）となりました。

③ 商環境向け建築サービス

当第2四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの連結売上高は2,225,234千円（前年同期比107.0%）となりました。

商環境向け建築サービスは主に商業施設等の内装工事、家具組立て、揚重を提供しておりますが、商環境の市場回復に伴う店舗・商業施設・オフィスなどの内装工事やメンテナンス案件の増加により、増収となりました。

④ 商材販売

当第2四半期連結累計期間における商材販売の連結売上高は313,352千円（前年同期比101.3%）となりました。

商材販売は主にリペア材料やメンテナンス商材を販売しておりますが、前年同期並みに推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は6,251,657千円となり、前連結会計年度末に比べ26,428千円の増加となりました。

流動資産は3,750,383千円となり、前連結会計年度末に比べ88,093千円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が298,144千円減少したこと、受取手形及び売掛金が311,961千円増加したこと、商品及び製品が52,561千円増加したことなどによります。

固定資産は2,501,274千円となり、前連結会計年度末に比べ61,664千円の減少となりました。これは、主にのれんが96,111千円減少したこと、繰延税金資産が35,222千円増加したことなどによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,423,426千円となり、前連結会計年度末に比べ95,715千円の減少となりました。

流動負債は3,041,043千円となり、前連結会計年度末に比べ258,563千円の増加となりました。これは、主に買掛金が88,681千円増加したこと、未払法人税等が57,514千円増加したこと、賞与引当金が102,732千円増加したことなどによります。

固定負債は382,382千円となり、前連結会計年度末に比べ354,279千円の減少となりました。これは、主に長期借入金が354,998千円減少したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,828,231千円となり、前連結会計年度末に比べ122,144千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が109,412千円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は45.2%（前連結会計年度末比1.7ポイント上昇）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は1,318,091千円となり、前連結会計年度末に比べ298,144千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、95,830千円（前年同期は230,528千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益266,121千円を計上したこと、のれん償却額96,111千円、賞与引当金が102,732千円増加したこと、売上債権が311,961千円増加したこと、仕入債務が88,681千円増加したこと、法人税等の支払額106,158千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、10,985千円（前年同期は13,175千円の支出）となりました。これは主に、有

形固定資産の取得による支出7,751千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、382,989千円(前年同期は551,960千円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出354,998千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の連結業績予想につきましては、2023年11月14日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,616,235	1,318,091
受取手形及び売掛金	1,726,066	2,038,028
商品及び製品	127,069	179,631
原材料及び貯蔵品	34,063	32,285
その他	163,274	187,409
貸倒引当金	△4,420	△5,063
流動資産合計	3,662,290	3,750,383
固定資産		
有形固定資産	60,852	60,379
無形固定資産		
のれん	2,114,460	2,018,349
その他	112,576	89,925
無形固定資産合計	2,227,037	2,108,274
投資その他の資産		
繰延税金資産	96,629	131,852
その他	182,323	203,040
貸倒引当金	△3,904	△2,273
投資その他の資産合計	275,048	332,619
固定資産合計	2,562,938	2,501,274
資産合計	6,225,228	6,251,657

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	450,573	539,255
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	709,996	709,996
未払法人税等	113,727	171,241
賞与引当金	122,735	225,467
未払費用	589,083	568,678
その他	496,365	526,405
流動負債合計	2,782,480	3,041,043
固定負債		
長期借入金	727,517	372,519
その他	9,144	9,863
固定負債合計	736,661	382,382
負債合計	3,519,141	3,423,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	561,787	561,787
資本剰余金	2,280,954	2,282,655
利益剰余金	637,069	746,482
自己株式	△773,724	△762,693
株主資本合計	2,706,086	2,828,231
純資産合計	2,706,086	2,828,231
負債純資産合計	6,225,228	6,251,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	6,344,993	6,721,049
売上原価	4,025,187	4,311,469
売上総利益	2,319,805	2,409,579
販売費及び一般管理費	1,981,010	2,141,809
営業利益	338,795	267,769
営業外収益		
受取利息	38	45
受取保険金	3,155	2,890
助成金収入	600	-
固定資産売却益	2,396	-
その他	1,129	927
営業外収益合計	7,319	3,863
営業外費用		
支払利息	6,816	5,461
固定資産除却損	5,924	0
その他	237	50
営業外費用合計	12,978	5,511
経常利益	333,136	266,121
税金等調整前四半期純利益	333,136	266,121
法人税、住民税及び事業税	191,107	164,315
法人税等調整額	△39,167	△35,222
法人税等合計	151,939	129,093
四半期純利益	181,196	137,028
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	181,196	137,028

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	181,196	137,028
四半期包括利益	181,196	137,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,196	137,028
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	333,136	266,121
減価償却費	28,973	31,324
のれん償却額	96,111	96,111
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,170	△987
賞与引当金の増減額 (△は減少)	80,973	102,732
受取利息及び受取配当金	△38	△45
支払利息	6,816	5,461
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,396	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△352,129	△311,961
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,954	△69,561
仕入債務の増減額 (△は減少)	124,666	88,681
固定資産除却損	5,924	0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	17,922	3,970
その他	18,950	△4,528
小計	355,787	207,318
利息及び配当金の受取額	38	45
利息の支払額	△6,819	△5,532
法人税等の還付額	1,679	157
法人税等の支払額	△120,156	△106,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,528	95,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,508	△7,751
有形固定資産の売却による収入	3,940	-
無形固定資産の取得による支出	△1,390	△450
その他	782	△2,783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,175	△10,985
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△449,998	-
長期借入れによる収入	300,000	-
長期借入金の返済による支出	△374,998	△354,998
配当金の支払額	△27,492	△27,615
リース債務の返済による支出	△371	△376
自己株式の売却による収入	900	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△551,960	△382,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△334,606	△298,144
現金及び現金同等物の期首残高	1,892,412	1,616,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,557,805	1,318,091

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益のうち、サービス別に分解した情報は以下のとおりであります。

なお、従来、サービス別に分解した情報を「リペアサービス」、「住環境向け建築サービス」、「商環境向け建築サービス」、「商材販売」、「抗ウイルス抗菌サービス」に区分しておりましたが、当社グループの事業動向に合わせて、第1四半期連結累計期間より、以下の区分に変更しております。

この変更に伴い、前第2四半期連結累計期間のサービス別に分解した情報も変更後の区分で記載しております。

前第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	2,227,173
住環境向け建築サービス	1,728,769
商環境向け建築サービス	2,079,791
商材販売	309,257
顧客との契約から生じる収益	6,344,993
その他の収益	—
外部顧客への売上高	6,344,993

当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	2,282,711
住環境向け建築サービス	1,899,750
商環境向け建築サービス	2,225,234
商材販売	313,352
顧客との契約から生じる収益	6,721,049
その他の収益	—
外部顧客への売上高	6,721,049